

JHL NEWS

No. 8

2010年10月25日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎が全勝キープ、女子はがぜん混戦模様

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第7週～

第35回日本ハンドボールリーグ第7週は愛知などで男子7試合、女子3試合が行われ、男子では大崎電気がトヨタ紡織九州、豊田合成を連破して開幕からの連勝を8と伸ばし、2位の大同特殊鋼、3位の湧永製薬も白星を積み上げた。女子は首位の北國銀行が前週に続いてオムロンに敗れ、がぜん上位争いは混戦模様となった。

男子の大崎-紡織戦は、序盤は大崎が先行したが、前半19分に同点に追いついた紡織が藤山のステップシュートで逆転に成功。その後は取られたら取り返す展開となり、18-17で大崎1点リードで前半を終了した。後半に入ると大崎は紡織・松信の退場の間に連続得点を奪い、これで勢いづく宮崎のパスを起点にさらに得点を重ねていった。後半15分にはこの試合最大の9点差に。紡織はクイックスタートや呉の連続得点などで反撃するが、地力に勝る大崎が東長濱の10得点の活躍などで必死に粘る紡織を突き放した。

大崎は翌日の合成戦で前半14分8-9と合成の先行を許していたが、このあと4連続得点で逆転し、17分に投入された宮崎の連打も加わり一気に加速した。大崎は22-15と7点リードで迎えた後半も東長濱のミドルシュートや森のポストシュートなどで着実に加点、中島、今村のロングシュートで食い下がる合成の反撃を許さず、43-33で勝利を握った。

1敗で大崎を追う大同は北陸電力と対戦。大同・東、北電・有江と両GKの好セーブの応酬で試合が始まった。大同は堅守からの素早い速攻、セットからの速いパス回しで北電ディフェンスを崩し、前半だけで6点をマークした武田の活躍もあって16-10とリードして折り返した。後半は互いにペースをつかめず、一進一退の攻防が続いたが、後半10分過ぎに大同はGK高木が7mスローをセーブ。そして北電・落合の退場により再び流れは大同に傾き、20分には26-16と10点差がついた。このあと北電は桜井、高橋らで追撃したが、大同は危なげなく逃げ切った。

両チームとも負けられない一戦となったトヨタ車体-湧永戦は、前半20分9-9の同点からペースアップした湧永が15-13と先行して前半終了。後半も湧永が主導権をキープ。車体も負けじと粘りを見せるが、湧永が徐々に差を広げ、11分23-17とした。その後、湧永・福田の退場をきっかけに車体が反撃を開始、佐々木らの活躍で一時は1点差まで肉薄したが、湧永はGKの再々にわたる好セーブと東長濱の得点で要所を押さえ、ラスト5分を4点差で迎えた。車体は東長濱への密着マークやオールコートマンツーマンディフェンスなどを仕掛けたが、湧永の勢いを止められなかった。前回2位の車体は2勝5敗と苦しい状況に追い込まれた。

女子の北國-オムロン戦は、序盤はともにイーゾーミスが続いてロースコアの展開。15分過ぎから試合が動き、北國が樋口とサイド屋嘉のコンビプレー、若松のサイドシュートで加点すれば、オムロンも藤井、東濱のロングシュートで応戦し、12-11とオムロンリードで折り返した。後半、北國は樋口、若松の連打で勢いづいたが、オムロンも高田の速攻、藤井のサイドシュートで再度逆転した。樋口頼りの北國はセットでの決め手がなく苦戦。高さを誇るオムロンは、速攻も絡めて確実に加点、終盤、サイド、ポストなどで粘りを見せる北國に3点差をつけて勝利を握った。

(2、3ページに続く)



①2位で大崎を追う大同特殊鋼・武田②北國銀行を破ったオムロン・藤井

第8週の日程

10月30日(土)	石川	金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅車25分)	12:00～	(男)	北陸電力×大崎電気
			14:00～	(女)	北國銀行×三重バイオレットアイリス
	愛知	豊田合成(株)健康管理センター(JR東海道本線稲沢駅徒歩15分)	17:00～	(男)	豊田合成×大同特殊鋼
	熊本	人吉スポーツパレス(JR肥薩線人吉駅車5分)	14:00～	(女)	オムロン×HC名古屋
10月31日(日)	鹿児島	霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	15:00～	(女)	ソニーセミコンダクタ九州×広島メイプルレッズ
	高知	高知県民体育館(JR高知駅から路面電車「棧橋通2丁目」徒歩1分)	13:00～	(男)	湧永製薬×琉球コラソン
	佐賀	神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州×トヨタ車体

大同もがっちり2位キープ

10月23日、愛知での男子・琉球コラソン-豊田合成は、合成が中村のポストプレーで先制すると、その後も速攻やロングシュートなどで4連取と好調な滑り出しを見せる。琉球も水野兄弟を軸に栗崎のポストプレーなどで追い上げ、15分過ぎに水野(裕紀)のゴールで逆転に成功。そのままリードを保ち15-14で琉球がリードして前半を折り返した。後半、合成に退場者が相次ぐ中、11分過ぎから村山の7mスローを皮切りに6連取した琉球が27-21と抜け出し、桶谷を軸に粘る合成を振り切って2勝目をマークした。

24日、同じく愛知でのトヨタ車体-北陸電力は、北電に退場者が出た15分過ぎから、車体が銘苅、高智の得点で抜け出すとディフェンスでも北電を圧倒、前半を18-13とした。後半立ち上がりも車体がディフェンスから速攻で一気に9点差をつけてペースを握ったが、18分過ぎから北電の6:0ディフェンスが機能し、速攻で高橋らが効果的に得点。車体にミスが続く中、北電のセンター切越が抜群のゲームメイクを見せ、残り1分20秒で1点差まで詰め寄った。さらに残り28秒、神田が7mスローを獲得し、同点チャンスが訪れたが、桜井のシュートで車体GK坪根がシャットアウトし、27-26で車体が辛くも逃げ切った。

大同特殊鋼-琉球は、前半14分過ぎからサイドに入った浦田、岸川らが確実に得点を決め、大同が4連取でペースアップ。琉球は、水野(裕紀)、村山、栗崎を軸に必死に攻撃を組み立てるも、大同ディフェンスとGK田中の好守に苦しみ、9-19と大量リードされて前半終了。後半も大同が地引、野村らがスピーディーな展開から得点をあげ、池田、名嘉らのゴールで追いつがる琉球を31-21で一蹴した。

◆ 10月23日(土) 男子
愛知・大治町スポーツセンター

大崎電気	40 (18-17)	35	トヨタ紡織九州
7勝0分0敗		22-18	4勝0分3敗
<0/1>	K 浦和		松野 K <0/1>
	7/9 小澤		中 畠 3/7
	3/5 豊田		西 端 0/1
1/1	9/15 東長濱		上 田 0/0
	1/2 永島		松 信 0/0
	2/2 横地		村上秀 8/10
	8/10 森		呉相民 7/20 1/1
	1/3 岩永		佐久間 0/0
	0/1 夏山		海道 3/5
	1/4 内田		谷 川 K
	2/2 猪妻		藤 本 0/0
	1/2 石川		鈴 木 3/7
<1/4>	K 吉田		藤 山 6/11 3/4
	4/12 宮崎		石 黒 1/1

1/1 39/67 11(FPP)4 31/62 4/5
審判(本田・田淵) 観客 623人

◆ 10月23日(土) 男子
愛知・大治町スポーツセンター

琉球コラソン	33 (15-14)	29	豊田合成
2勝1分4敗		18-15	0勝0分7敗
3/3	0/0 久高		榊原 0/0
	3/4 村山		原 0/1
	4/8 水野矢野		野 田 3/5 3/3
	4/5 栗崎		大 橋 1/2
<0/2>	1/1 池田		桶 谷 5/6
	K 内田		中 島 7/11
	5/7 名嘉		森 光 2/3
	3/4 内山		加 藤 0/0
	5/13 高田		藤 田 K <0/1>
<0/1>	K 石田		今 村 3/8
	5/7 水野紀		中 村 2/2
			芳 仲 2/6
			藤 堂 K <0/2>
			米 本 1/1

3/3 30/49 6(FPP)7 26/45 3/3
審判(佐々木・安田) 観客 684人

◆ 10月23日(土) 男子
愛知・知立市福祉体育館

湧永製薬	30 (15-13)	25	トヨタ車体
5勝0分2敗		15-12	2勝0分5敗
<0/1>	0/1 志水		石 戸 0/2
	3/5 谷村		佐々木 7/12
	4/7 木村		高 智 6/9
	0/0 坂本		安 藤 1/1
3/3	1/4 山中		藤 田 1/1
	0/1 福田		木切倉 1/2 1/1
	3/4 佐藤		北 出 0/1
	0/0 名嘉		富 田 2/6
	0/0 樋口		鶴 谷 1/7
	4/5 新		坪 根 K <0/2>
	1/1 今井		崎 前 0/0
<0/1>	K 松村		銘 苅 1/3 1/1
	2/7 古家		甲 斐 K <0/1>
	9/12 東長濱		門 山 3/4

3/3 27/47 14(FPP)5 23/48 2/2
審判(多田・中館) 観客 874人

◆ 10月23日(土) 男子
愛知・東海市民体育館

大同特殊鋼	31 (16-10)	23	北陸電力
6勝0分1敗		15-13	1勝1分5敗
	K 田中		高 橋 6/7
	1/1 棚原		神 田 5/9
	2/6 野村		切 越 0/2
	6/11 末松		桜 井 4/10 0/1
1/1	3/3 浦田		前 田 1/2
1/1	4/5 地引		高 山 1/4
	7/11 武田		引 山 2/3
	2/4 岸川		落 合 2/4
<1/1>	K 高木		石 塚 0/0
	0/0 山城		廣 瀬 K <0/2>
	K 東		山 原 2/7
1/1	0/0 下村		有 江 K <0/1>
	3/7 松永		櫛 田 0/0
	0/0 渡久川		

3/3 28/48 4(FPP)6 23/48 0/1
審判(福田・富田) 観客 723人

◆ 10月24日(日) 男子
愛知・春日井市総合体育館

トヨタ車体	27 (18-13)	26	北陸電力
3勝0分5敗		9-13	1勝1分6敗
1/2	石 戸		高 橋 4/8
3/4	佐々木		神 田 5/10
5/8	高 智		切 越 2/2
1/2	安 藤		桜 井 2/7 2/3
4/4	藤 木		前 田 2/3
0/0	高 木		高 田 3/4
1/4	木切倉		杉 山 0/0
1/2	北 出		落 合 5/9
0/0	富 田		石 塚 0/0
3/5	鶴 谷		廣 瀬 K <0/2>
<1/2>	K 坪根		山 原 1/3
	3/4 崎前		有 江 K
2/2	3/7 銘苅		櫛 田 0/0
<0/1>	K 甲斐		

2/2 25/42 7(FPP)7 24/46 2/3
審判(本田・田淵) 観客 1500人

◆ 10月24日(日) 男子
愛知・春日井市総合体育館

大同特殊鋼	31 (19-9)	21	琉球コラソン
7勝0分1敗		12-12	2勝1分5敗
<0/1>	K 田中		久 高 0/1
	0/2 棚原		村 山 2/6 0/1
	7/8 野村		水野矢 2/6
	7/11 末松		栗 崎 4/4 1/1
0/1	5/6 浦田		池 田 3/3
1/1	5/7 地引		内 田 K <1/2>
	2/7 武田		名 嘉 3/7
	4/6 岸川		内 山 0/1
	K 高木		高 田 2/9
	0/0 山城		石 田 K
<1/1>	K 東		水野紀 4/8
	0/0 下村		
	0/1 松永		
	0/0 渡久川		

1/2 30/48 8(FPP)9 20/45 1/2
審判(佐々木・安田) 観客 1550人

◆ 10月24日(日) 男子
愛知・大治町スポーツセンター

大崎電気	43 (22-15)	33	豊田合成
8勝0分0敗		21-18	0勝0分8敗
	0/0 染谷		榊原 0/1
	6/7 小澤		原 0/0
	0/3 前田		野 田 1/7 2/3
2/2	6/9 東長濱		大 橋 6/11
	2/4 永島		桶 谷 5/8
<1/3>	K 東		中 島 8/16
	6/6 森		森 光 0/0
	3/6 岩永		加 藤 0/1
	0/0 夏山		藤 田 K <0/2>
	3/6 篠崎		今 村 5/9
	2/3 内田		中 村 4/6
	6/9 石川		芳 仲 2/4
	K 吉田		藤 堂 K
	7/10 宮崎		米 本 0/0

2/2 41/63 4(FPP)5 31/63 2/3
審判(福田・富田) 観客 684人

ソニー、広島が順当に勝利

前週、北國銀行の全勝にストップをかけ、女子の上位争いに波乱を呼び込んだソニーセミコンダクタ九州は23日にHC名古屋と対戦。この試合、名古屋は高橋（瑛）のロングシュート、高橋（玲）のサイドシュートで得点するものの、警告、退場が目立ち、なかなかリズムに乗れない。一方、長野の得点でスタートしたソニーは、黒木のサイドシュートが連続で決まると高橋や高柄も次々と加点し、18-8と10点差をつけて前半を終えた。後半もソニーがディフェンスからの速攻でリズムよく加点、GK飛田もファインセーブを見せた。懸命に挽回を図った名古屋だが攻撃の決め手不足に泣き、39-19でソニーが圧勝した。

24日の三重バイオレットアイリス-広島メイプルレッズは、前半立ち上がりから先行する広島に対して三重が追うという展開に。広島は呉のロングシュート、植垣の7mスロー、ミドルシュートで着実に加点すれば、三重も戎野のロングシュート、星野の速攻などで16分には6-6と、この試合唯一の同点の場面を作った。しかし、このあと広島は、植垣、呉の活躍などで一気に4点を連取してペースをつかみ、14-9と5点差で前半を終えた。後半に入っても流れは変わらず。三重は当たりの出てきた伊藤のロングシュートなどで12分に3点差まで詰め寄ったが、反撃もここまで。その後、広島の植垣、土屋らに次々とゴールを割られ、大差のゲームとなった。

次週は石川などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子は大崎電氣らが下位チームの挑戦を受ける。女子の中では激しく上位を争うソニーセミコンダクタ九州-広島戦の行方に注目。

◆ 10月23日(土) 女子
石川・小松総合体育館

オムロン	23	(12-11)	20	北國銀行
5勝1分3敗		11-9		7勝0分2敗
<3/4>	K	藤間	寺田	K <0/2>
	1/4	城内	若泉	0/0
	5/6	高田	鰻場	0/0
	0/0	巻	樋口	7/12 0/3
	0/0	稲葉	佐久川	2/3
4/5	0/0	吉田祥	川井	0/0 1/1
1/1	7/8	藤井	中村	2/4
	2/4	石立	横嶋	2/5
	0/1	吉田薫	野路良	1/3
	0/0	久野	翁長	0/1
	1/2	永田	田代	K <1/4>
	K	山中	井上	0/1
	0/0	前田	若松	2/4
	2/9	東濱	屋嘉	3/4

5/6 18/34 6(FPP)12 19/37 1/4
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 1352人

◆ 10月23日(土) 女子
愛知・東海市民体育館

ソニーセミ コンダクタ九州	39	(18-8)	19	HC名古屋
6勝1分2敗		21-11		1勝0分8敗
6/12	郭惠静	近藤	K <0/2>	
3/5	長野	池田	0/1	
1/1	3/3 高橋	佐藤	0/2	
1/1	5/7 田中	高橋瑛	4/9	
	2/3 山田	鈴木	2/10 3/3	
	6/6 高柄	菅谷	2/9 1/1	
	0/2 川崎	阪本	0/2	
	5/6 黒木	外本	1/2	
<1/2>	K 飛田	上野	0/1	
	2/2 石井	高橋玲	1/2	
	1/1 古川	家城	K <0/1>	
	1/2 錦織	秋山	1/2	
1/1	2/5 張素姫	横井	1/2	
<0/3>	K 伊地知	井本	3/4 0/1	

3/3 36/54 4(FPP)9 15/46 4/5
審判(大石・桜打) 観客 313人

◆ 10月24日(日) 女子
三重・名張市総合体育館

広島メイ プルレッズ	33	(14-9)	21	三重バイオレ ットアイリス
5勝2分2敗		19-12		1勝0分8敗
<1/3>	K	堂面	浅井	K <1/2>
	4/7	土屋	横川	1/3
	0/0	村山	戎野	2/5
	0/0	河田	宮下	2/7
	1/2	大前	石坂	4/9
4/7	6/20	植垣	飯田	1/3
	3/5	菅野	毛利	K <2/5>
	2/2	早川	星野	3/6
	6/13	呉成玉	小川	0/0
	0/0	安齋	伊藤	6/17 2/3
	1/1	伊藤	村尾	0/0
	6/9	新城		
	K	石原		
	0/0	青戸		

4/7 29/59 7(FPP)9 19/50 2/3
審判(油上・中村) 観客 450人

宮崎、伊藤らが快進撃 個人ランキング争い

第7週終了現在での個人ランキング(4ページに詳報)を見てみると、男子ではスベインリーグから戻った大崎電氣のエース宮崎が得点王、フィールド得点の両部門で1位となり、抜群の輝きを見せている。3年連続得点王の末松(大同特殊鋼)は6位と出遅れている。シュート率は小澤(大崎)がトップに立っているものの、2位以下との差はわずか。7mスロー、7mスロー阻止率争いも混戦模様だ。

一方の女子は伊藤(三重バイオレットアイリス)が得点王、フィールド得点とも2位以下に水をあけてトップを快走しているのが目立つ。2年連続得点王の上町(北國銀行)は惜しくも故障欠場で大きくランクダウン。シュート率は高柄(ソニーセミコンダクタ九州)と新城(広島メイプルレッズ)がハイアベレージで競り合っている。7mスローは植垣(広島)の存在が際立ち、7mスロー阻止率は藤間(オムロン)が中島(ソニー)らを一歩リードしている。



大崎・宮崎



三重・伊藤



琉球・内田



オムロン・藤間

男女個人ランキング 第7週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	54点	(8試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	80点	(9試合)
2 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	47点	(7試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	74点	(9試合)
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	46点	(7試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	55点	(9試合)
3 野田 祐希 (豊田合成)	46点	(8試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	53点	(9試合)
3 今村 彰伸 (豊田合成)	46点	(8試合)	5 上町 史織 (北國銀行)	45点	(6試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	45点	(8試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ)	42点	(9試合)
6 東長濱 秀希 (大崎電気)	45点	(8試合)	7 呉 成玉 (メイプルレッズ)	40点	(9試合)
8 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	44点	(7試合)	8 高栖 由香 (ソニー)	39点	(9試合)
9 高田 匠 (琉球コラソン)	43点	(8試合)	9 田中 美音子 (ソニー)	38点	(9試合)
10 東長濱 秀作 (湧永製薬)	42点	(7試合)	10 長野 かづさ (ソニー)	36点	(9試合)
10 武田 享 (大同特殊鋼)	42点	(8試合)	11 張 素 姫 (ソニー)	35点	(9試合)
12 小澤 広太 (大崎電気)	41点	(8試合)	12 横嶋 かおる (北國銀行)	34点	(9試合)
13 新 建 二 (湧永製薬)	40点	(7試合)	13 東濱 裕子 (オムロン)	33点	(9試合)
14 落合 信也 (北陸電力)	37点	(8試合)	13 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	33点	(9試合)
15 栗崎 純一 (琉球コラソン)	34点	(8試合)	15 高田 裕梨 (オムロン)	32点	(9試合)
15 森 淳 (大崎電気)	34点	(8試合)			
15 豊田 賢治 (大崎電気)	34点	(7試合)			
15 中島 晋太郎 (豊田合成)	34点	(8試合)			

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	54点	(8試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	60点	(9試合)
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	46点	(7試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	47点	(9試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	46点	(8試合)	3 新城 明奈 (メイプルレッズ)	42点	(9試合)
2 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	46点	(7試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	42点	(9試合)
5 高田 匠 (琉球コラソン)	43点	(8試合)	5 呉 成玉 (メイプルレッズ)	40点	(9試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	42点	(8試合)	6 高栖 由香 (ソニー)	39点	(9試合)
6 武田 享 (大同特殊鋼)	42点	(8試合)	7 高橋 恵 (ソニー)	37点	(9試合)
8 小澤 広太 (大崎電気)	41点	(8試合)	7 田中 美音子 (ソニー)	37点	(9試合)
9 新 建 二 (湧永製薬)	39点	(7試合)	9 長野 かづさ (ソニー)	36点	(9試合)
10 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	38点	(7試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	34点	(9試合)
			10 張 素 姫 (ソニー)	34点	(9試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 小澤 広太 (大崎電気)	41点/ 54射 0.759	1 高栖 由香 (ソニー)	39点/ 49射 0.796
2 新 建 二 (湧永製薬)	39点/ 54射 0.722	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	42点/ 57射 0.737
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	46点/ 68射 0.676	3 高橋 恵 (ソニー)	37点/ 54射 0.685
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	54点/ 87射 0.621	4 横嶋 かおる (北國銀行)	34点/ 57射 0.596
5 今村 彰伸 (豊田合成)	46点/ 82射 0.561	5 田中 美音子 (ソニー)	37点/ 69射 0.536
6 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	38点/ 69射 0.551	6 長野 かづさ (ソニー)	36点/ 75射 0.480
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	42点/ 77射 0.545	7 藤井 紫緒 (オムロン)	42点/ 88射 0.477
8 武田 享 (大同特殊鋼)	42点/ 80射 0.525	8 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	60点/ 131射 0.458
9 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	46点/ 90射 0.511	9 張 素 姫 (ソニー)	34点/ 76射 0.447
10 高田 匠 (琉球コラソン)	43点/ 101射 0.426	10 呉 成玉 (メイプルレッズ)	40点/ 93射 0.430

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	12点	(8試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	27点	(9試合)
1 野田 祐希 (豊田合成)	12点	(8試合)	2 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	20点	(9試合)
3 桜井 渉 (北陸電力)	11点	(8試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	18点	(6試合)
4 村山 裕次 (琉球コラソン)	10点	(8試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	18点	(9試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	6点	(7試合)	5 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	13点	(9試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 10射 0.400	1 藤間 かおり (オムロン)	12本/ 29射 0.414
2 吉田 耕平 (大崎電気)	4本/ 11射 0.364	2 中島 亜樹 (ソニー)	9本/ 27射 0.333
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	3本/ 10射 0.300	2 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	6本/ 18射 0.333
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	2本/ 9射 0.222	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	4本/ 17射 0.235
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	2本/ 12射 0.167	5 寺田 三友紀 (北國銀行)	4本/ 23射 0.174

第 35 回 日本ハンドボールリーグ成績表 第7週終了 10月24日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	北陸電力	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	8	8	0	0	16	294	242	52
2	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	○	○	○	8	7	0	1	14	226	192	34
3	湧永製薬	●	●	○	○	○	○	○	○	7	5	0	2	10	191	178	13
4	トヨタ紡織九州	●	●	○	○	○	○	○	○	7	4	0	3	8	229	207	22
5	トヨタ車体	●	●	●	●	○	○	○	○	8	3	0	5	6	233	227	6
6	琉球コラソン	●	●	●	●	●	△	○	○	8	2	1	5	5	205	247	-42
7	北陸電力	●	●	●	●	●	△	○	○	8	1	1	6	3	188	225	-37
8	豊田合成	●	●	●	●	●	●	●	○	8	0	0	8	0	218	266	-48

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	オムロン	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	9	7	0	2	14	227	191	36
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	△	●	○	○	9	6	1	2	13	270	208	62
3	広島メイプルレッズ	●	●	△	△	○	○	9	5	2	2	12	267	206	61
4	オムロン	●	○	△	●	○	○	9	5	1	3	11	229	184	45
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	9	1	0	8	2	210	283	-73
6	HC名古屋	●	●	●	●	●	○	9	1	0	8	2	155	286	-131

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。